

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 3 年度 第 1 回野田市消防委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 委員長及び副委員長の選出（公開） 2 消防概況について（報告）（公開） 3 野田市消防団分団（部）の統合について（公開） 4 消防団員の処遇改善について（公開） 5 消防組織検討会について（公開）
日 時	令和 3 年 1 1 月 5 日（金） 午前 1 0 時 0 0 分から午後 0 時 1 8 分まで
場 所	市役所低層棟 4 階 委員会室
出席者氏名	委 員 長 隈本邦彦 副委員長 関根和弘 委 員 員 染谷賢一、逆井健一、山本和広、深井芳人、 秋山咲智子、横川栄子、石原和子、 倉持喜好、市原康雄、菅野透、宮内彦行、 土屋孝 事 務 局 鈴木有（市長）、今村繁（副市長） 園田誠一（次長兼警防課長）、宮田明（参事兼 総務課長）、染谷伸一（予防課長）、内藤浩幸 （消防署長）、秋山健治（総務課長補佐）、 片野剛（消防署副署長）、野本恵一（総務課庶 務係長）、井上淳一（総務課庶務係主査）、 田村雄一（総務課庶務係主任主事）
欠席委員氏名	小張力
傍 聴 者	無し
議 事	第 1 回野田市消防委員会の会議結果（概要）は、次の とおりである。
消防本部総務課長補佐	令和 3 年 1 1 月 5 日午前 1 0 時 0 0 分、開会を宣 言し、会議の成立について報告した。

消防本部総務課長補佐	<p>会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。</p> <p>市長の挨拶を求める。</p> <p>〈挨拶〉</p>
市長	
消防本部総務課長補佐	<p>委嘱後、初めての委員会開催であるため、委員の紹介を行い、市の出席者並びに事務局の職員を紹介した。</p> <p>議題1 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>議事に当たり委員長の選出を行うため、仮議長を市長に依頼する。</p>
消防本部総務課長補佐	
市長	<p>野田市消防委員会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により委員長を選出するため、委員の意見を伺う。</p>
…委員	<p>指名推薦でよろしいか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
市長	<p>推薦を求める。</p>
…委員	<p>これまで委員長を務めていた隈本委員を推薦する。</p> <p>〈異議なし〉</p>
市長	<p>隈本委員に委員長を決定し、仮議長を降りる。</p>
消防本部総務課長補佐	<p>委員長に挨拶を求める。</p> <p>〈挨拶〉</p>
消防本部総務課長補佐	<p>議事進行を委員長に依頼する。</p>
委員長	<p>野田市消防委員会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により副委員長を選出するため、委員の意見を伺う。</p>
深井委員	<p>指名推薦でよろしいか。</p> <p>〈異議なし〉</p>
委員長	<p>推薦を求める。</p>
…委員	<p>これまで副委員長を務めていた関根委員を推薦する。</p> <p>〈異議なし〉</p>
委員長	<p>関根委員に副委員長を決定し、挨拶を求める。</p>
副委員長	<p>〈挨拶〉</p>
委員長	<p>審議の準備が整ったので傍聴人の案内を求め、途中傍聴希望者がいた場合入室を認める旨説明する。</p>

事務局 委員長	<p>現在傍聴希望者はおりません。</p> <p>市長は公務の都合によりここで退席する旨説明。</p> <p><市長退席></p>
委員長	<p>議題2 消防概況について（報告）</p> <p>消防概況について（報告）の内容について、事務局に説明を求める。</p>
消防本部総務課長	<p><資料に基づき消防概況について（報告）の内容を説明></p>
委員長	<p>消防概況について（報告）の内容について、質疑及び意見を求める。</p>
…委員	<p>1 ページの組織図なのですが消防職員の人数がないので教えてほしい。</p> <p>もう一点、3 ページの施設概要、消防本部が51年と鉄筋コンクリート建造物が大体50年と言われている中で51年が経過している。平成10年に耐震の工事を行ったと聞いたが、災害時拠点となる建物が既に50年を超えている。</p> <p>耐震の確認はしたということだが災害時に一番守らなければいけない設備が50年を過ぎているという形。</p> <p>耐震基準についても何回も更新があったと思うが平成10年の工事で今現在最新基準を満たしているのか、再度の耐震補強をしなければならないのか。</p> <p>中長期で今後の建物の建て替えについて消防としてどのような計画を立てているのかということについてお聞きしたい。</p>
委員長 消防本部総務課長	<p>ありがとうございました。ではまず人員構成から。</p> <p>消防長1名、総務課は勤務5名と松戸のちば北西部消防指令センター派遣職員4名、予防課11名、警防課7名、消防署48名、中央分署22名、北分署22名、南分署22名、関宿分署33名、関宿北出張所10名、以上の配置となっております。</p>
…委員	<p>そのほかに再任用職員が2名、総務課と警防課に1名ずつ配置しております。</p> <p>分かりました。消防の勤務は3交替とのことで実質勤務はこの3分の1ずつということによろしい</p>

<p>消防本部総務課長</p> <p>委員長 副市長</p>	<p>か。</p> <p>総務課と予防課と警防課は日勤、それ以外の消防署と各分署は3交替になりますが、各施設の所属長については、日勤者となっております。</p> <p>では次に耐震状況についてお願いします。</p> <p>建物の管理については消防だけでなく野田市全体に関わる事業なので私の方から答えさせていただきます。</p> <p>耐震については建築基準法が昭和56年に改正され、それを基に耐震基準が設定されたものですので、それにのっとって行われたもので、本部の基準は今の基準に合致しております。</p> <p>築50年を経過していることに関しては、先ほど耐用年数50年とおっしゃっていましたが、国の施設等含め昭和40年、50年代に建てられた施設が数多くあることから一斉に建て替えることは財政的に困難なこともあり長寿命化を目標とした施策がとられております。長寿命化の目安については80年、それまでは適切な管理・改修を行っていかうとなっております。</p> <p>野田市の施設の中で一番古いのが学校施設、それに伴う給食施設についてもどのように計画をしていくかとなっております、消防施設だけではなく学校施設と併せて見ていく中でどうしていくか、基本的には80年ということ考えているので、消防委員会から建て替えてほしいという声があっても、財政的な面も含めると現状では不可能なので80年を目安にしっかりと管理・改修していくことが基本になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>質問の趣旨は2000年に改正があった耐震について伺っているかと思うのですがその点については。</p>
<p>副市長</p>	<p>営繕課に確認を取っておりますその基準も大丈夫です。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですか、私からも質問なのですが停電対策についてはどうなのでしょう。地震発生時にはライ</p>

<p>消防本部総務課長</p>	<p>フライング切断が起こりますが、設備関係とか。 設備関係についてはトイレなどの改修が済んだところでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>地震などの対策については、自家発電等お持ちですか。</p>
<p>消防署長</p>	<p>自家発電については国の指針では72時間となっており、それには及びませんが、予備燃料等駆使して54時間ほど稼働できる状況です。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員が言うように、緊急時には必ず頼りにされる施設ですのでその点を踏まえてしっかりと対応を考え、72時間を目指して是非予算等つけていただければと思います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>ほかに何か御質問は。 今の関係で、外の壁に爆裂が結構起きている。果たして本当に基準に適合しているかどうか不明なのですが、ICTについても関宿分署ぐらいいいかやっていないと思う。 今後女性職員を増やしていかなければいけない仕事ですが女性用施設が本署と関宿分署しかできていないのですかね、今後30年は建て替えないということですがほかの消防施設と比べても訓練塔もないなどかなり見劣りしている。 地震災害が起きたときにはほかからの受援隊を受け入れる必要が出てくる。 皆さん御存知かもしれませんが大災害時には野田市は見捨てられる地域、橋が1m50cm以上ずれてしまうとほかの市町村の受援隊が入ってくることができない。 立地条件的に72時間ではなく1週間ぐらい自前で生き残れないといけない署なのです。 その点踏まえて防災計画・調査計画を考えてほしいと思います。 30年建て替えないという話ですが窓もサッシにもなっていません、鉄の窓枠等になっていますから。実際に御覧になると驚くと思います。以上です。 爆裂等についてはふだんから見えてまして、今回</p>
<p>副市長</p>	

副市長	<p>も修繕をやっております。</p> <p>消防も重要な施設であることは承知しておりますが各種重要施設があるので、限られた財源の中で一番優先するものを決めて順に改修を行っております。</p> <p>改修案件を早期に発見するためにそれまでは消防や学校の各施設ごとに施設管理者を置いていたが、来年度から包括管理委託を行い市役所のそれぞれの施設について業者に委託し専門的見地から改修の必要性について保守点検を行いながらやっていこうとしております。</p> <p>これによってどの施設が今劣化や老朽化により対応しなければいけないのかということ判断して対応していきたい。</p> <p>発電についても一週間というのはなかなか厳しいところはありますが財政の許す限りは拡充していかねばいけないと考えております。</p>
消防長	<p>女性消防職員の採用についてのお話が出ました。野田消防の計画について申し上げますと令和6年までに6名となっており、現在関宿分署に3名の職員が既に配置されて業務を行っております。</p> <p>残り3名を見込んで消防署の女性消防用仮眠室を改修により整え、後は優秀な人材を考査によって採用するという状況になっております。以上です。</p>
委員長 副委員長	<p>ほかに何かございますか。</p> <p>4ページの消防職員数について、野田市は再任用についても職員数に入れる方針なのですか。</p> <p>私が近畿や関東で調べた範囲では現場へ出動する職員は人数に含めているところがほとんどなのですが、現状火災や救急の現場に出動しない人員については任用の人数に入れていないところがございます。</p> <p>根拠法としてどういう方向で考えておられるのか今後は定年延長等も行われていくのでしょうか。</p>
副市長	<p>再任用職員については消防に限らず、フルタイム、</p>

副市長	普通の職員と同じ勤務の場合には定数条例の定数に入る形となっております。週5の7時間45分勤務。
委員長	短時間勤務の再任用職員もおりまして、こちらについては職員数に入ってきません。以上です。
消防本部総務課長	ありがとうございます。ではこの2名についてはフルタイムの中の人数ということでいいですか。
委員長	フルタイムではありません。短時間の勤務となります。
消防本部総務課長	では2名が今回は含まれていないということで今回の報告には含まれております。実際には185名の職員ということになります。
委員長	では少しだけ充足率が下がるということですね、分かりました。
委員長	ほかにはどうでしょうか。
	<意見無し>
	では次にまいります。
委員長	議題3 野田市消防団の分団（部）の統合について
消防本部総務課長	野田市消防団分団（部）の統合について、事務局に説明を求める。
委員長	<資料に基づき消防団の現状と統合について内容を説明>
…委員	それでは御質問は何かありますでしょうか。
	野田市の場合図面にあるようにかなりの数の分団数があるのですけれども分団の統合については10人以下ということですが人員の減員による統合案が多いですが、隣接する分団と分団の間の距離という形で見たときに、やはり旧野田市の部分が多い、旧関宿については少ないように見受けられるのですけれども、これは分団の統合ということで考えると距離、災害の現場に早くいかなければならないということは距離が一番の問題になると思いますので隣接との距離が近いところは合併でいいと思いますけれども距離が遠いところはそういった形は避けるというような視点が必要だと思いますけれども。
	分団の設備機能的にはどういったものがあるのか

<p>消防本部総務課長</p>	<p>全然分かりませんので、消防車があるのかないのか分からない状態ですけれどそういった機能がなければ団員だけいても意味がないと思いますしその点についても心配でございます。以上です。</p> <p>先ほどご説明差し上げた自治体に対しての分団の統合に対する説明に関しては、団員定数の改定がありましたのでできる限り定員に近い人員を確保して継続していきたい旨をお願いした上で厳しい場合は隣接する分団との統合という形でお伝えしております。</p>
<p>消防長</p>	<p>ポンプ車については各分団1台配備しております。</p> <p>統合についての補足になりますが、少人数となる分団の自治会長たちへ統合についての説明に伺った際に、我々の世代は消防団の活動は当たり前、役割はある程度の認識はしておるのですが、地元の細部の方へ入っていきますと、消防団は一体何をやっているのだ、どういう活動をしているのだ、ということが見えていないという事が話合いの中でありました。</p> <p>自治会の皆様に改めて消防団の活動について再度認識していただくというのも南方面隊からも関宿方面隊からもお声がありました。</p> <p>少人数なため統合をしなければならないと思って検討していたところに対しても、やはり地域防災のために必要だよねということで何とか団員勧誘を図ろうという動きが出ているのも事実です。</p> <p>また、消防団の役割を再度自治会の住民に御理解いただくため、消防団の活動役割を分かりやすく説明したリーフレットを作成し自治会と協力し全戸配布の準備を進めている状況です。</p>
<p>委員長 …委員</p>	<p>ありがとうございました。〈はい〉</p> <p>削減については消極的な団員数を増やしてやっていくという方向のお答えでしたけれども、次の議題の話にもなると思うのですが、ある程度の現員数を押さえておかないと。予算は決まっていると思うの</p>

<p>委員長 副委員長</p>	<p>で、現員数を抑えていかなければいけないだろうと。 現員数と業務のバランスがどうなのか検討する問題があるのと各分署と出動する際にどうするのか距離とか能力加味して今後の方向を考えていかなければならないと思います。 ほかに何かありますか。</p>
<p>消防長</p>	<p>消防団の設置根拠は昭和40年代につくられたものと前の根拠でやっていると思うのですが、そろそろ小学校学区等での統廃合を考えていかなければならない時期だと思います。土屋委員がおっしゃったとおり。昔は字で分割していたりすると思いますので。 設置根拠等は何かございますか。 見直すために今の根拠につながってやっていると、人員の配置についても大事なことなので。 私が知りうる限りのところでございますと平成15年の関宿との合併の際に今の形ができました。 合併に際して野田関宿双方の消防団で十分な議論を行った結果として今の形と聞いております。 人口密度や内部世帯数、面積を加えて56分団を見ますと必ずしも団員1名当たりの負担等が均等にはなっていない部分も事実としてございます。 市街地の分団は数はいるけれど、担当世帯数も面積も小さい、調整区域になると世帯数は少ないけれど管轄地域が広いといった特性があります。 今後どうしようかというところは、消防団のなり手がいないという中で大きな問題だという認識を我々常備消防は危機感を持っている。 連携して災害対応に当たらないと市民の生命・財産を救えないのは当たり前なので、今後この委員会の下に下部組織として消防組織検討会、のちの議題でも触れさせていただきますが、常備消防職員の中堅、各消防団方面隊の中堅16名で連携して、今後の在り方についてどうしていこうかということをお腹を割って議論していかなければならない。 委員さんがおっしゃったところまで行くかは不明</p>

<p>委員長</p>	<p>ですが、今後に向けてしっかりと議論をしていきたいと考えております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>いずれにしても古い時代に決まったことを変えていくのがこの委員会の目的でもありますので、大胆にご提案いただいてその方向に進めていくのが必ず市民のためになると思います。</p> <p>是非そこは、今まで決まっていたことを変えるのは大変なことだと思いますが取り組んでいただきたい。ということで、副委員長からも土屋委員からも強い意見が出たということを受け取ってもらえればと思います。</p>
<p>…委員</p>	<p>ほかに御質問はございますか。</p> <p>消防団の活動については消防長から説明がありましたが、こちらに記載されている災害出動・訓練出動・警戒出動そういった等々を日中は仕事等しながら災害時・緊急時には出動する。</p> <p>こういった奉公の精神を持っていらっしゃる。</p> <p>野田の消防団の活動の中でこういった部分に積極的に参加したらいいのではないかとということの一つ考えてきたのですけれども、自分は南部地域なのですがその中で連合自治会の防災担当をしています。</p> <p>地元には消防団があるわけですが、市で行われる防災訓練、大規模な演習、防災フェア、こういったことでの消防団の活動報告については見られるのですが、地域の防災訓練に消防団の人が参加するとき一人でも服を活動服を着てきたり、車両を持って来たり、少しずつでも目に見える消防団の活動が入ってくれば。</p> <p>そういうふうに思うわけです。</p> <p>確かに消防団の活動は現在テレビの映像等で見ますと自衛隊や警察、こういった方々がクローズアップされていますよね。</p> <p>消防団はもっと大変な思いをして地元で活動を行っているわけです。3.11にしても静岡の土砂災害にしても九州・広島・岡山・長野、こういった地域にお</p>

<p>…委員</p>	<p>ける水害において消防団は活動しているのですが、国民の目に映るのは自衛隊と警察と地元の消防の活動しかないわけで、消防団は3.11がありまして、あのときは消防団の活動が非常にクローズアップされていましたが、最近は映像の世界でも消防団の活動が目に見えない。</p> <p>ですから、消防団、年間の活動行事については非常によくやっているとと思います。</p> <p>それ以外に地元で行われる防災訓練、地域の防災訓練などを防災安全課と協定し、あるいはまたより多くの地元の消防団の団員、班長、分団長等々いるわけですから、そういう人たちと地元の自治会長が連携して、地元で行われるような防災訓練、あるいはただ今行われている10月10日前後の体育の日に行われる消防フェアだとか、市民体育祭だとか、こういったところに消防団の車両を持ってくる。活動服を着て並んでいる。あるいはポンプ車を展示する。</p> <p>こういったことを一つ一つ重ねていって、消防団活動というものを市民の目の当たりにする。</p> <p>こういったことが必要ではないか。</p> <p>自身の参考意見ですけれども消防団の活動を市民の目に当たるような努力をしていただきたいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、それは是非消防組織の方からもそういうふうをお願いをしてもらいたいことと、自治会連合会からも地元の消防団との連携を進めていく動きも期待したいと思います。</p>
<p>…委員</p>	<p>福田地区の連合会長をやっております。</p> <p>今お話にあったように、啓蒙をするというのは非常に良いと思います。</p> <p>ただし、消防団全体に言えると思うのですが、消防団が高齢化しております。</p> <p>新規参入の住民が非常に少ない地域だと思いません。</p> <p>関宿地域もハザードマップが出てから住んでいる</p>

<p>…委員</p>	<p>人も随分減っておりますよね。正直な話です。</p> <p>防災組織において、各消防団の分団の高年齢化、若い人でも農業をやっている人でもない災害時に出動できない、会社員は出られないといったところがあります。</p> <p>子供はもう野田市から出てしまっているという世帯が数多くあります。</p> <p>そんな中で分団を統合するといっても各地区の中で統合はしたくない、わが町、自分たちで守ってきた分団という意識がすごい強いと思います。統合は難しいと思います。</p> <p>分団の建物も地区によってすごく新しいところもあればすごく古いところもある。</p> <p>そういったところを理解して進めなければいけないと思う。</p> <p>今野田市に多くの会社が入っていると思うがそういった対外的な事業所の方を入れるという施策を進めていかないと、地域住民だけでは野田市はもう高齢化しすぎてひどい話が70歳以上でも消防団に入ってくださいとでもしない限りは、本当に出動できないですね。</p> <p>消防団の活動を見ていると操法大会が出ており、設備はあの装備のためにお金を使っている分団もある。</p> <p>競技で勝つために新しいホース、こういうやつを買わなくては駄目だと、本末転倒じゃないかということもある。</p> <p>分団の使う器具は最新のやつ、皆に使ってもらえるように、投光器も新しいやつとかそういうのは分かります。</p> <p>しかし一番の目的は参加する人たちをどうやって増やすか、これに尽きるところです。</p> <p>野田市全般に言えることだと思いますが高齢化している、そこに若い世代を入れるのなら事業所に働きかけてそこに勤める若い世代の方に入ってもらうしか無理だと思います。以上です。</p>
------------	---

委員長	ほかに何かありますか。
副委員長	参考までに東京消防庁管内は事業所から消防団に入っております。
副委員長	東京マラソンでは企業の団員が消防団の活動服を着て警備に当たっております。
	私は大学の教員ですが地元の消防団に入っております。学生中心に。
	うちも事業所卒なのですが特定の指定救護団をやっておりますしそういったこともできますのでおっしゃるとおりだと思います。
委員長	そういう意味では東京理科大も含めてそれから事業所の自衛消防隊に消防団に入ってもらふことなどを考えていくべきだと。
消防本部総務課長	消防団の就業区分で行きますと現在68%の団員が被雇用者、自営業の方が21%程度となっております。その他家族従業員等となっております。
	勤務者の内市内勤務が66%市外32%程度
	かなりの人たちが市外に出ている状態になっております。
	ただし市内在勤者も消防団に入れる制度になっております。
委員長	通常時は常備消防で何とかなっても災害時には絶対的な人手不足になることははっきりしておりますのでそういったことをアピールしていくことは必要だと思います。
…委員	南部の地域には東京理科大があり1000人以上の学生と、学校職員が勤務しております。
	また貝塚周辺のアパートは単身の理科大生が多く住んでおります。
	そういった学生を災害時のマンパワーとして使えないだろうかと思ったことはあります。
	現在は連合自治会と理科大で協定を結んで災害時に何かできないだろうか、消防団の活動に参加できないだろうかと考えており、数年前から体育の日前後に行う市民体育祭、市民フェスタと呼んでおるのですが、フェスタに理科大の音楽部、あるいは太鼓

<p>…委員</p>	<p>部、そういった文化関係の部活を招くことを毎年行っていたわけです。</p> <p>その次に連合自治会で防災訓練を行う際に理科大生を参加させたわけです。</p> <p>最初は3人、5人という規模だったのがそのうち部単位での参加をしてくれるようになりました。</p> <p>しかしコロナの関係でそれもできなくなってしまった。</p> <p>そういった学生を参画させる形で消防団活動を保管する、地元の防災活動を行うマンパワーを確保する、そういったことができないだろうかと考えたのですが、市当局、消防当局も考えていただければ一歩一歩前進するのではないかと思います。</p>
<p>消防本部総務課長</p>	<p>学生消防団という制度がございまして、学生消防団に対する優遇措置を設けていこうかという方向で検討しております。</p> <p>理科大そのものとして学生消防団を作っていたかどうかというお話を持っていったこともありますが調整がうまくいっていないところがございまして。</p> <p>野田市では現在普通の消防団員として5名の学生が消防団活動を行っております。</p> <p>事業所については野田市の協力事業所というものがあるのですが現在28事業所に御登録いただいております。以上です。</p>
<p>副市長</p>	<p>理科大について補足させていただきますと、市と理科大では包括協定を今年か去年締結しております、包括的なものなので今頂いたご意見についても理科大にお願いしていこうかと思います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>文科省から各大学に地域連携、地域の市町村と連携しなさい、お金あげますからという通知が国から来ています。</p> <p>大学の担当部署に連携の話を持っていくと結構喜んで話を聞いてもらえるのではないかと思います。</p> <p>うちの大学も地域連携で地元の山科区といろいろな面で連携しております。</p> <p>ほかにも補助金が大学におりたりします。</p>

委員長	<p>理科大との地域連携の努力を進めてもらうという ことで。</p>
委員長	<p>ではほかに何かありませんか。</p>
…委員	<p>以前南地区の方面隊長をやったこともございま す。団員の意見としては団員と自治会の距離があっ て少しこちらから話かけにくいということがあった ので自治会の方も消防団を気にかけて声をかけてい ただいたりすると連携がとりやすい。</p>
	<p>ここで上がっている14の2の団員が少ないこと に対し、今上の自治会長6人を呼んでお願いをした ことがありましたが、そのときは皆さん分かっていた いただいたような感じでお帰りになったが、ほとんど 動いてもらえないような状態で今日まで来てしまっ たようなところがあった。</p>
	<p>自治会は消防団の大きな後援組織でもありますの でそういった御協力もお願いできればと思うのです けれども。</p>
	<p>自分は福田地区に限っての意見を述べさせていた だいた。</p>
…委員	<p>野田市の自治会連合会としてのテーマに乗ってい ればそういったお話も降りてくると思うのですが、 今現在自治会連合会のテーマに消防団の話題は申し 訳ないが出ていないです。</p>
	<p>各自治会で問題を吸い上げるということをやっ ておりますが今年、去年の審議でそういう意見があり ましたという形で出しております。</p>
	<p>自分たちの消防団に対する福田地区としての感想 になりますけれども、後援会は各自治会にあります。</p>
	<p>結構な金額を集めてそれぞれの消防団に寄附して おります。</p>
	<p>福田地区一括しての寄附はありません。</p>
	<p>各自治会で集めた金額を各自治会の消防団に渡 してあります。</p>
	<p>正直に言いますと住民方はふだん消防団の方は何 やっているのと聞きますと「飲んでるのだろう」 という答えが返ってくる。かなりぶっちゃけますと。</p>

<p>…委員</p>	<p>消防団への後援金を集めるときに「飲んでいるのだろう」という話がでます。それだけです。</p> <p>そういうのは昔の風習だよと説明しても、年寄りが多い地域なのでなかなか理解をいただけない。</p> <p>先ほどの防災についての追加になりますと、福田地区は野田市の避難所指定になっていなかった場所に避難所を1か所増やしました。自分たちで探して、自分たちで条件を決めて、こういう条件で避難所ができないかと野田市に提出して1か所作っていただきました。</p> <p>市政だけでなく住民が地形など含めて分かっていないといけないことなので、担当自治会に話をして問題点を出して一番困るところはどこだ、各自治会で困っているところもあれば困っていない自治会もあります。</p> <p>そういった意見を自分たちで出して、避難所が作れるのじゃないでしょうかという意見を防災安全課に出してやってもらった。</p> <p>今度市報に出るとのことでしたがまだ出てはいないようです。</p> <p>木間ヶ瀬の農業試験所になるのですがそこを水害時の避難所と設定しました。</p> <p>後は自治会として水道部にお願いして水の確保をしております。全ての自治体が行うと水がなくなってしまうところもありますが…。</p> <p>自分たちのことは最低限自分たちで動いて結果をださないと自治会には限度があると思います。</p> <p>野田市はコロナワクチンすごくよくやってくれた。</p> <p>しかしお金がないことを知っておりますから、道路の陳情をしても予算がないと言われて直せない。</p> <p>消防本部の階段を上ってみてもらえば分かると思うのですけれどもやはり古いなど。</p> <p>インフラで情報収集活動とかできるのかなと思うことはあります。</p> <p>現場を映像で分かるのかなと思いますが。</p>
------------	---

<p>…委員</p>	<p>大体LINEで済んでしまうのかなと思うこともありますがし、情報網をしっかりと管理するためにも新しい庁舎は必要かなと思いますのでその辺しっかりとやっていただきたいと思います。</p> <p>極端な話そういったところを市民が理解していれば消防団へプールしているお金を消防署を建て替えることに使ってもかまわないと。</p> <p>マンパワーを違う形で集結できるようにしないと野田市って良くなれないと思います。</p> <p>はっきりいって、遅れていると感じます。</p> <p>住んでいる愛着もあると思いますけれど出る勇気というものもあるから、出てしまうのではなくここに住んでほしい、良くしてほしいという方向に行かないと。</p> <p>野田市の消防から考えなおしていかないと自治会自体ダメになっていくと思うので。</p> <p>コロナの中で何もできないというのは間違いで、コロナだからこそ僕たちは暇なので祭りが無い分いろいろなことがやれる。いっぱいあるのです。</p> <p>その辺を考えていただいて各自治会と消防の距離があるというなら会長とか副会長は話合いができています。</p> <p>しかし自治会員はお年寄りしかいないので、昔のイメージのままなのでそこは消防団が自分たちで直していかないと。</p> <p>消防団活動が大変なことは分かります。ただ操法大会で優勝するためにはという話を聞いていると、自分たちはお金使える、自分たちはお金使えないという話が聞こえて、若い子たちの言葉を使わせてもらおうと「何かちょっと違うんじゃないかねーの金の使い方」と思うことはあります。以上です。</p>
<p>…委員</p>	<p>先ほどいろいろな意見が出ましたけれども、自分は北方面隊、川間地区北部地区なのですけれども、川間地区は自治会連合会なのですけれども川間地区消防後援会というものが脈々とつづいており、操法大会に出場するメンバーに激励会というものを開い</p>

<p>…委員</p>	<p>てくれている。</p> <p>自分は6年間方面隊長をやっておりましたが、北方面隊で操法大会22連覇しておりその結果として千葉県などの上位大会に出場しており、自治会の防災訓練などもきちんとした格好で参加しております。</p> <p>自治会と消防団の関係が良くてもそれでもなかなか新しい団員のなり手がなくて頭を抱えているところがあります。</p> <p>操法大会はやれば技術が上がりますし、ホース等を購入することは一概に無駄とは言えないと思う。</p> <p>競技をすること自体は無駄だとは思いませんが、水圧が高いものを使うなど、買える買えないの差が出る話を言っております。</p>
<p>…委員</p>	<p>競技は勝つためではなく参加することに一番意義があると思っておりますので、それに対して一定の基準でそろえるのではなく行っているのが問題であって、一定の基準でそろえてやってということであれば後はマンパワーの競技になると思います。</p> <p>そうではなく器具によって随分結果が違ふとの話が出てきておりますので僕は地元の団員からそういった話が出ておりますので横一列に行っていたら大会はいいと思う。</p> <p>そうなればマンパワー、技術の問題なので。</p> <p>道具で決まってしまうのは嫌だなあという事を言っているだけです。</p>
<p>…委員</p>	<p>道具で決まってしまうという話に関しては県大会に出てくるところはどこも非常にいい道具を使っております。</p> <p>そもそも何のために操法大会を行うかということになりますと作業レベルを上げるために行っております。現場に行って安全に作業を行うために。</p> <p>また、訓練をすることによって福田地区の団員の結束力が上がる。</p> <p>福田地区の消防団が優勝したとき私は団長でしたので福田地区へ激励に赴きました。</p>

<p>…委員 …委員</p>	<p>そういった部分で勘違いを生んでおっしゃっていると思うのですけれども、主目的は自分たちのレベルを上げることです。</p> <p>それは分かります。</p> <p>大多喜地区は県大会が強く5連覇したことがありました。</p>
<p>…委員</p>	<p>非常にいい道具を使っていたために自治会からそういったことにお金を使うのは辞めてくれという話が出て大会に参加する事も辞めてしまいました。</p> <p>それでどうなったかというふだん自分たちは何をすればいいのか分からなくなってしまった。</p> <p>守るべき人間が自分の守り方を知らなくなってしまうのは本末転倒ですので、団長としてはこれまでどおり大会は続けて各々競技に向けて頑張る形であってほしいと思う。</p>
<p>委員長 …委員</p>	<p>私も福田地区なのですが、前の消防委員も務めておりました、操法大会も見に来てくださいと言われて見に行きました。福田の。</p> <p>毎日夜遅くまで学校の校庭等で練習を続けて挑んでいるのですよ。</p> <p>道具の話も出ましたが参加する彼らは仕事後に毎日夜遅くまで練習を続けているのですよ。</p> <p>そういった姿を消防団の方々は大変だなと思ってみておりました。</p>
<p>委員長 …委員</p>	<p>そういったことでよろしいでしょうかね</p> <p>操法大会自体が無駄だとは全くおりませんので、結果を良くするのがホース1本で変わり、技術を磨くのは違うと。</p> <p>消防活動を良くするために必要なものを言ってくればそのために器具を購入する援助はすると話しておりますが、その結果出てきたのが大会で勝つためにはホース1本。で、違うというお話だったので。</p> <p>遅くまで努力されていることは分かっております。ただ遅くまでやらなければならないという面で人が集まりにくくなっている点もあると思います。</p> <p>次の議題にも関連すると思うのですけれども消防</p>

	<p>団に入りやりがいを感じられたり成果が得られたと実感できるようなシチュエーションを作ってあげないとこれから野田市に住む人が、仕事をしに来ている人も踏まえて、防災に対して良くしてあげたいなと思っております。</p>
副市長	<p>ホースに関する実態はこちらで把握していなかったのですが、消防団の備品は市の方で提供しているとの認識でしたが、団によってはそうではないというお話が聞こえましたので、当然防災のためのものですからそこについては実態を把握させていただきたいと思っております。</p>
…委員	<p>技術が進歩しているからどんどんいい商品が出てくる。</p>
…委員	<p>操法大会は市の大会から始まり最高位は全国大会になります。</p> <p>それで来年度は千葉県市原市の消防学校で全国大会が開催される予定となっており、野田市代表、千葉県代表として出場したいと高いモチベーションで練習をしている分団もあると聞いております。</p> <p>コロナで2年延期されていることもあり、モチベーションが維持できているか難しいですが、本気でやりたいと思っているなら私は全力でバックアップしたいと考えております。</p> <p>全国大会に出るという目標ではありますが根底には地域の安心安全を守るという消防団の原則が気持ちにあると思っておりますので、そういった分団からの相談があった場合は協力していただくと有り難いと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。よろしければ次の…、はいどうぞ。</p>
…委員	<p>消防団員の確保という問題で、地域に若い人が定住しないという問題があると思っております。</p> <p>私どもの自治会においても同じ。</p> <p>結局はこの問題は野田市に人がいないと解決しない問題だと思っております。</p>
…委員	<p>市に対するお願いということなのですが若い人</p>

<p>…委員</p>	<p>が、大学を卒業して東京の方にみんないってしまう。 そういった人が帰ってきて地元で定住して市内から通うなりして地域の消防団に協力しようという体制を考えてもらいたいと思います。 魅力ある野田市という形を進めてほしいし、若い人が地元に残っていれば消防団の活動を充実できる可能性は出てくる。 私の方の自治会も年々これがある。若い人が家を継がないので空き家が増えてしまう。 非常に悪いサイクルが実際に起きている。この問題を見過ごしていると自治会もいつまで存続できるか分からない。 野田市全体がおかしくなってしまう。 そのあたり企業誘致も含めて魅力ある野田市、働きやすい野田市といったことを進めていってほしい。</p>
<p>副市長</p>	<p>高齢化と人口減少については全国的な問題ではありますが、野田市において高齢化は進んでおりますが人口減少は思ったより進んでいない。 若い人たちが一度離れて戻ってきているのか。 雇用についても、今関宿に工業団地を作らないかということで検討を進めています。 交通問題についても解決していかなければなりませんし、もちろん子育てしやすい環境についてもすすめており、野田市の保育料は2歳から有料ですが近隣に比べてすごく安い。 その点は余りPRできていないのかなど。 魅力推進課を立ち上げPRを行っている。 来年2月には魅力推進課と広報と観光を一緒にして一つの戦略室をつかって市内外に魅力を発信していきますし、当然具体的な施策も推進していかなければならないと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ簡単な事ではないのである程度中長期的にやっていかなければならない。 よろしいでしょうか。 <意見無し></p>

委員長	では次の議題に移ります。
委員長	議題4 消防団員の処遇改善について
消防本部総務課庶務係長	消防団員の処遇改善について事務局に説明を求め る。 〈資料に基づき消防団員の処遇改善について内容を 説明〉
委員長	今の説明に対し何かありますか。
副委員長	手当の支給状況について書いていないのですが各 市の人口を教えてください。大体でいいです。 松戸50万、市川50万、船橋70万、柏32万、 流山18万、我孫子12万、鎌ヶ谷10万、浦安15 万ぐらいですかね、あと浦安と鎌ヶ谷は分団にぶら 下がりではなくてそれぞれ4分団、9分団というこ とでいいですかね
消防本部総務課長	おおむねそのとおりです。 (※後確認 柏43万、流山20万、鎌ヶ谷は8 分団+1部で9分団)
委員長	随分と差があるのですね。 いずれにしても今回見直しを決める。というので はなく、前の議題と同じように消防組織検討会で検 討してもらって、その結果に対し審議するというこ とでよろしいか。
消防本部総務課長	そのようになります。
委員長	去年も全体に対しての議論があつて、そのときも 単価が安いというお話がありましたよね。 しかし総額は同じくらいということは結果的に団 員の皆様にいっている金額は相当多い。単価を見直 すのは逆に過大な予算の支出になってしまう恐れが ある。
消防本部総務課長	そういうふうに理解してほしいです。 単価につきましては、今回、国から災害出場だけ は1日当たり8千円ぐらいにした方がいいのではな いかという助言がでております。それ以外について は金額は逆に調整程度、全体的には野田市は低い形 になっております。単価よりも2ページの全体的な 災害出動回数というのが3, 392回となっております

副市長	<p>まして、災害出動の考え方の整理を、検討会会議にて標準化していきたいと考えております。</p> <p>補足させていただきますと国は消防団についての交付税措置をしております。</p>
副市長	<p>市にその分のお金を出していますよと言っているのですけれども、この交付税という制度は日本全国でどれだけという金額が決まっている中で消防団は幾ら分という形に圧縮されてくるので市が予算を組む上で交付税措置される事業が多岐に亘るため、全くそのとおりに運用することは現実的に難しいことがあります。</p> <p>その中で消防団の方たちは市の非常勤職員となっておりますけれども実際には年額の報酬が36,500円のボランティアに近い位置付けで、自分たちのコミュニティを自分たちの手で守るというボランティア精神で消防団をやっていただいていると市としては考えております。</p> <p>その中でどういった出動手当がいいのか。</p> <p>今出動のときには8千円とっておりますけれどもこれは1日7時間45分を基準に考えておりますけれども、そのところをほかの市では4時間未満4時間以上で分けておりそういう必要があるのかなと思いますし、警戒・訓練につきましても熱心な分団はたくさんやっているところもありますのですけれども、熱心にやっているのに抑えるような指示を出してもいいものかというのがありますので、出し方も工夫した方がいいと思っております。</p> <p>例えば、私個人の考えですけれども最初の10回は満額、それ以降の訓練については半額にする等、いろいろなことを考えて提案させていただきたいと考えております。</p> <p>報酬そのものについては現状国の基準を満たしてはおりますけれども消防団員の確保という問題がありますので、手当が終わった後、引き続き報酬についても消防委員会に議論させていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。</p>

<p>…委員</p>	<p>今の問題は、分団に手配される手当として機材の維持管理に使われるお金も含めての出動ということですね。</p>
<p>消防本部総務課長</p>	<p>年報酬もそうですけれども個人へ1回の出動に対して支払われる金額となります。</p>
<p>…委員 消防本部総務課長</p>	<p>機械の維持管理で出動ということにはならない。点検出動、警戒出動の中に点検が含まれておりますので、手当の対象となっております。</p>
<p>…委員</p>	<p>ということですよ。</p> <p>歳末のパトロール、夜の防犯、防災パトロール、機械の維持管理のための出動を含めた手当ということ。</p> <p>先ほどの団員確保の問題で活動していることが見えないというお話もありましたから、その点についても十分に含めて検討してもらいたいかなと思います。</p> <p>そうしないと団員の手当にしても活動があつて、こういう活動をしているから手当が出るよという資金繰りしないと、団員のなり手はいなくなってしまう。魅力のない活動はできないよ。</p> <p>お金が掛かることですがその点も踏まえて検討していただきたいなど。以上です。</p>
<p>…委員</p>	<p>この処遇改善と3の議題の分団の統合というのはある意味正負のものだと思っております。</p> <p>一市民の市民感覚としては野田市は5,300万円もの支出をもっていて柏市は5千万円、住民一人あたりの歳入にそこまで差はないと思う。</p> <p>それなのに柏市40万人で野田市2.5倍の人口なのに野田市が柏市以上の支出を行っている。</p> <p>この金額は納得できませんよ。</p> <p>それなりにレベルをそろえてもらわないと。団員を増やしますとなっておりますが、分団の数等それなりに見直しを行って効率よくいかないと納得がいかないと思うのですよ。</p> <p>5,300万円というのは今の歳入に対し何%ぐらいになる。全体の歳入に対して。</p>

<p>委員長 …委員 副市長</p>	<p>市の予算。 全体の中で 金額でのお話ですけれども単純に総額でみるというお話でなくそれぞれの地域で消防団がどういった活動を行うということで見えてくるものであります。 そういう活動はあるとは思いますが、 野田市はほかの市に比べて消防団の数がすごくあるという話は伺っております。</p>
<p>…委員 副市長</p>	<p>消防と消防団が協力して野田市の安全を守っておりますので、現在の627名という数も現実的にはもっと多くいてもらいたいという現状ですので、この手当の額が大きすぎるとは全く思っておりません。 ただその中で、一つあるのが先ほど平準化ということがありましたが単純に平準化してしまうのもよくないと思っております。 出動手当についてはきちんと出たものについては支払うべきだと思います。 ただ財政的な負担も交付税はあっていないような措置ですので、限られた財源の中で消防団員を確保していく、消防団というのはお金だけで解決するものではないので、コロナ禍で厳しいところではありますが適正な範囲内できちんと行っていきたいと考えております。 手当の出し方、金額については先ほども申し上げたような考え方をしておりますけれども、柏の団員が597人、野田市が627人とありますが柏の団員が野田市と同じレベルの活動ができているとは思っておりません。 どういった活動ができているかについては消防長から説明があると思うのですが、そのように考えております。</p>
<p>委員長 消防長</p>	<p>ご意見を。 副市長が申し上げたように各近隣でもバラつきはあります。 野田が四つの方面隊という状況で災害一つ取って</p>

<p>消防長</p>	<p>も大きな地域の防災組織として消防団が活動している状況。</p> <p>近隣に比べ突出している状況があります。</p> <p>活動状況を単なる数字だと団員の負担という部分は見えないので一概に数字だけの議論ではなく今後の中身について見て判断していかなければならないと考えております。</p>
<p>…委員</p>	<p>そういった考え方はそうだと思うのですが、一般市民から見れば数字だけでは異常ですよ。</p> <p>ですからこういった数字を出すのであれば、近隣市と何がどう違ってこの金額になっているのか、一緒に出さないといけないと思います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>興味持って数字だけみるとおかしいと思います。</p> <p>近隣市は消防職員の充足率はほぼ100%になっておりますので、野田市の規模をそれにそろえると消防団についても他市規模の運用で大丈夫になると思います。</p> <p>消防職員を300人近くまで増やすと団員費は減ります。</p> <p>ただそうすると消防費は大きくなってしまふ。</p> <p>なので5000万円で600人を雇っていると考えないと安いのですよね。</p> <p>他市は消防職員数がかなり充足しているということがあるので消防費全体で見ていかないといけないのかなというところはあると思います。</p>
<p>…委員</p>	<p>消防職員が何人いて、消防団員何人いて、どういう活動を行ったからこうなる、だからそこまで大きい支出割合ではない。</p> <p>そういった出し方をしていただければ納得できると思います。</p> <p>極端な話団員を減らしてでも消防職員数を増やした方が、専任なのでですからそちらの方が効率がいいなんて場合もあると思いますので。</p> <p>数字だけ聞くと市民感覚では絶対納得いきませんよ。</p>
<p>…委員</p>	<p>地域のことについては理解できたと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>あと処遇で言いますと訓練・警戒と火災出動の手当が同じ金額であるのも見直す時期ではないかという意見は前の委員会でも出ておりました。</p> <p>その点についてももしっかり議論していただきたいと思います。</p>
<p>委員長 …委員</p>	<p>ほかに何かありますか。</p> <p>先ほど委員のおっしゃった支出なのですけども、これは令和元年の実績についてのご意見になると思います。</p> <p>2ページの消防団の各出動状況を見ていただくと令和2年と令和元年の表示があって令和2年は数がぐっと少なくなっている。コロナの関係で訓練が少なかった。</p> <p>支給手当の金額については令和元年、コロナ以前の実績となっておりますので基準としては本当の消防の活動としては見にくいと思います。</p> <p>なので令和2年の金額の出方を見ていけば、私は消防団は本当によくやっているという思いですので、お金の面。</p> <p>後は自治会からの後援会費用を集める、これは違法行為だと思うのですが、後援会で集めている自治会もありますので、それらも含めて自治会としては潤沢に応援をしている、という思いはすごくある。</p> <p>ただ、市から出しているお金については少ないという思いは正直言っております。</p> <p>のだ市議会だよりの152号を見ていただければ分かると思うのですが、消防団救助能力向上で国から1160万1440円出ています。</p> <p>消防団にも援助金が国から施設を良くして頂戴と出ていると思いますので消防団の設備が良くなってみんなが消火しやすいとか、車の維持管理が楽になるような事業をやっていただけるといいと思います。</p> <p>お金ももっとあげてもいいと思うが適正な支出、あげ方があると思いますので全部一律というのは難</p>

<p>委員長</p>	<p>しい、企業にだって残業手当等ありますので、それなりの給料の出し方というのを見直していただければ有り難いと思います。</p> <p>実際問題、消防団後援会費、市報にも違法だと言われているのだけれども集めます。</p> <p>そういったところはスッキリさせていただいて違法には問わない、自治会として、後援会として今までやってきた。そういったことはどんどんやっていただきたいので自治会を使っていただければと思います。以上です。</p> <p>それではこの件はここまでにして次の議題へ移りたいと思います。この件は次回までに検討会で検討していただいて消防委員会に提出していただければと思います。</p>
<p>委員長 消防本部総務課長 委員長 …委員</p>	<p>議題5 消防組織検討会について</p> <p>消防組織検討会について事務局に説明を求める。</p> <p><消防組織検討会について説明></p> <p>御意見や御質問はありますでしょうか。</p> <p>選出委員について将来的なことについて検討するのであれば30代40代の年齢の人が入っていた方がいいと思うのですが、何らかの選出基準があって決められたことだと思うので、一概には言えないとは思いますが。</p>
<p>委員長 消防本部総務課長</p>	<p>選考基準等何かありますか。</p> <p>消防職員につきましては各分署長からの推薦で司令補以上の人選をお願いしております。</p> <p>消防司令というのが係長クラスでそれに近い人。</p> <p>消防団員につきましては、各方面隊の幹部クラス、分団長以上ということで各分団2名ずつの推薦をお願いしております。</p>
<p>委員長</p>	<p>それなりの立場の人を選出しているということですね。よろしいでしょうか。<意見無し></p> <p>それでは消防組織検討会については資料にある下記委員について指名するというのでよろしいでしょうか。</p> <p><はい></p>

委員長	では推薦されたとおりに決定いたします。
消防本部総務課長	最後にその他、よろしく申し上げます。 次回の委員会開催につきまして連絡します。
消防本部総務課長	消防団分団（部）の統合については、関係自治会との調整を図り調整が整い次第、報告とさせていただきます。
委員長	消防団の処遇改善については、消防組織検討会で調査審議を重ね整い次第、委員会に諮問したいと考えており、令和4年2月中を目安としております。開催日につきましては、改めて御連絡させていただくとともに、事前に資料を配布させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上になります。
副委員長	ありがとうございました。我々が集まるのは2月頃になりそうだということですね。
副委員長	ほかに委員の皆様何かありますか。
副委員長	参考になるかと思うのですがけれども、私12月に京都橘大学で地域の自治会の人たちと連携しまして、地元消防団、自治連合会、自主防災組織と協力して水害のハザードマップを参考に机上訓練を行います。
副委員長	今まで各自治会でやっていて、先ほど消防団と自治会の距離の話も出ましたけれども3団体集まって、100人ぐらいでやることを計画しております。
副委員長	これを防災訓練の代わりにやろうとしております。
副委員長	机上訓練は手間やコストが安くできますので方法の一つとしてあります。
副委員長	消防団と関係団体が議論していく、今回は高齢者避難についてを題材に行うのですけれども、参考の一つとしてお伝えします。以上です。
委員長	ありがとうございます。コロナもようやく落ち着いてきたところで、顔を合わせてお互いの顔を認識した上で顔を合わせて話をしないとまとまらない話もあると思いますので、こういった形で特に地元の自治会と消防団が連携して住民を守る。という形に向けた御努力をお願いします。

	<p>では少し長くなりましたが本日の委員会はこれで 終了とさせていただきます。 どうもありがとうございました。 午後0時18分、閉会を宣言した。</p>
--	--

以上